



情報支援ボランティア(手話)
福井県
聴覚障がい者センター
施設長

石田 稔

情報保障の熱意と支援の連携を活かして

国体の総合開閉会式と障スポ全体の聴覚障がい者への情報支援ボランティア養成事業委託を4年前から受け、3年間にわたる先催県への視察を含め、テキストと手話DVDの作成、指導者養成とボランティア養成を担当し、目標を上回る635名もの登録者を得ることができました。全体研修と会場別研修や現場打合せを経て、6月のプレ大会における実習体験を踏まえ、聴覚障がいの選手や応援者への手話通訳・要約筆記に取り組むことができました。8回に及ぶ研修への参加皆勤者104名という数字が、その熱意を物語っております。天候や想定外の事態にも臨機応変に対応し、県・市町の担当者、競技団体役員、他のボランティアのご協力により、無事に情報支援ができましたことを、心より感謝いたします。得難い経験をさせていただき、この支援の繋がりを聴覚障がい者福祉に結び付けるよう頑張りますので、今後ともご理解ご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。



情報支援ボランティア
(文字情報支援)
全国要約筆記問題研究会
福井支部

黒川 裕子

最高の輝きを感じて

国体・障スポでは、情報支援ボランティアとして参加させていただきました。県国体推進局をはじめ、各団体の皆さま、情報支援ボランティアの皆さま、大変お世話になりまして、心よりお礼申し上げます。

文字情報支援は、ボランティア数が少ない中「選手団の皆さんやお客さまに笑顔で文字での『おもてなし』を」との気持ちで、要約筆記(パソコン・手書き)と筆談の方々がフル活動されたお姿には、本当に感動いたしました。

情報支援ボランティアの活動を通じてたくさんの新しい出会いがあり、一緒に活動する中で、どの競技も手話・文字関係なく、お互いに相手を思いやり笑顔で声をかけ合うことで、みんなの心がひとつになり、成功につながったのだと感じております。改めてチームワークの大切さを感じ、今後の福祉活動にも生かしたいと思えた大会になりました。

まさに、はびねすダンスソング「君が最高に輝くように」のとおり、お一人お一人がきらきら輝いていた時間でした。

貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。



選手団サポート
ボランティア
福井医療大学
看護学科1年

岡田 真緒

サポートボランティアの一員として

今回、サポートボランティアとして大会に参加してみて、とにかく楽しかったです。私が担当した県の選手がフレンドリーで、私を家族のように温かく接して下さったことが一番嬉しかったです。最初は、全員が心を開いてくれていたわけではありませんでした。しかし、日が経つにつれて、選手の方々が話したい、写真を撮りたいなど積極的に言ってくれるようになりました。試合が終わってからも、ありがとう一言言われるだけでボランティアをして良かったなという気持ちが溢れてきました。もっと一緒にいたいと思わせてくれる選手の方々にもう一度会いたいです。そして別れ際に、寂しいと泣いて下さった選手に出会えたことに感謝したいと思います。そしてもう一つ、このボランティアに参加して良かったことは、他県の選手や、他学の生徒、警備員さんと仲良くなれたことです。普段話せない方々とお話しをすることは、私の将来の夢に繋がる良い経験になりました。またこのような機会があれば是非参加したいと思いました。

しょ かん しゅう 所感集

両大会のあゆみ

所感集

募金・協賛

実行委員会



選手団サポートボランティア
公立若狭高等看護学院

宮口 彩希

元気の源

私は精神障害者のバレーボール競技にサポートボランティアとして参加させていただきました。精神障がいについては、まだ学んでおらず、どう関わればよいのか不安で「気に障るようなことをしないように」と思っていました。しかし、選手の方々と関わって、それは自分の偏見でしかないことに気が付きました。選手の方々は特にバレーボールをしているときに生き生きしておられました。互いに励ましあう姿をみて、私も前向きな言葉をかけるように意識をしました。最初は遠慮気味に恐る恐る話しかけていましたが、段々と会話量も増えました。皆さん気さくで話やすく、笑顔で過ごすことができ、私たちが選手から沢山の元気をもらいました。このことから、自分が相手を受け入れる姿勢を見せることで、相手も心を開いてくれるのだと思いました。そして、最初から全て知ろうとするのではなく、小さなことから焦らず少しずつ関係を築くことが大切だと学びました。選手の方々にとって、バレーボールは生きがいや、やりがいに繋がっていると感じ、私も一生懸命に応援を行い、チームが一丸となっていく様子に感動しました。4日間でしたが、誰かのために応援し、サポートすることで、「しあわせな気持ちを抱き、元気になれる」素晴らしいことだと思いました。今後はこの経験を活かし、学習を積み重ね、周囲の人々が元気になれるような看護師を目指したいと思います。サポートボランティアとして貴重な経験をさせて頂いたことや、選手の方々をはじめ関わった皆さまに感謝いたします。



ダンスソング
作曲・編曲・作詞

石田 公代

「君が最高に輝くように」作曲に当たりまして

第73回国民体育大会 第18回全国障害者スポーツ大会 が無事閉会されたこと、心からお喜び申し上げます。台風や雨など難しい気象条件の中でしたけれども、選手の皆様のご活躍、大会関係者の皆様や多くのボランティアの方々が成功に向け尽力される姿に大変感銘を受けました。

大会公式ダンスソング「君が最高に輝くように」は、当初の楽曲制作に当たり、かつて福井県代表として国体に出場した方からお聞きした言葉『夢・誇り』をキーワードに、国体・障スポに出場する選手の皆さんが頑張る姿に、私たち県民が感動し、自分の頑張るべき道を進むための励みになれる、そのような歌詞、曲の展開、サウンドメイクを目指しました。

そして、2014年12月に初披露されて以来、・マスコットキャラクターはぴりゅうと一緒に「はびねすダンス」という愛称で、小さい子供さんから年配の方、障がいのある方まで幅広く親しんで頂いたこと、本当に嬉しく思っております。また、私自身も4年間にわたる「はびねすダンス」の普及・PR活動の中で、自分の道を頑張っているたくさんの方々との出会い、感動するシーンに多く恵まれました。音楽を通じてこの大会に参加できましたこと、大変光栄に存じます。これからも、皆様お一人お一人の人生が最高に輝いていくことをずっと願っております。



大会愛称提案者

仲橋 祥子

「福井しあわせ」を実感

国体の愛称に家族みんなで応募した6年前。この少し前に、幸せの象徴こうのつりの愛称に「さっちゃん」と応募し採用された私は、国体の愛称も「福井は幸福度No.1」「福井しあわせ」と決め応募しました。

今大会の開会式・閉会式に参加した私は、厳かな雰囲気での式典や、歳も性別も障がいをも超越し演技した歓迎イベントの活気、熱に圧倒されました。また、国体と障スポ初の「融合」の大会であることを知り、子供の頃から障がいのある人と接する機会が多く共に過ごした私は、少しの驚きと大きな喜びを感じました。

応募当時中学生だった私の中の文字上の「福井しあわせ」は、故郷を離れて学んでいる今、この大会をとおし改めて、誰にも優しく住みよい「福井しあわせ」であると実感しました。この素晴らしい大会に関われたことをとても嬉しく思います。ありがとうございました。



スローガン提案者

小森 通子

感動をありがとう。福井しあわせ元気国体・大会

降り続く雨。最悪模様の国体開会式。スタンドで合羽の隙間から浸み込む雨滴に耐えながら、50年前の福井国体開会式を思い出していました。あの時は快晴でした。高校生のマスケームの指導者としてフィールドに立ち、はためくオレンジ色の布に染まったことが蘇りました。

さて、今回の国体・障スポ両大会の開閉式に参加できた私にとって印象的だったことを二つ書きます。

その一。やはり開会式の素晴らしさ。雨にもめげず強く行進する選手団の雄々しさ。そして巧みに構成された式典演技の華やかさ。9.98スタジアムに集まった人達の気持ちが一つになる姿に感動!感動!の連続でした。雨の中での開会式は思い出に残る開会式ともなりました。

その二。シャトルバスやスタンドで茨城県・大分県・埼玉県の方々とお話しできたことでした。ポカポカ小春日和の障スポの閉会式では埼玉スポレク協会の方々と体育館前の芝生で昼食を御一緒させて頂きました。まさに織りなそう心の交流でした。

私は既に後期高齢者です。好きな民踊・フォークダンス・スクエアダンス・ラウンドダンスを学んだり、指導したりしています。これからの人生も元気で輝くものにしていきたいと願っています。



「はぴりゅう」デザイン

松田 知佳

はぴりゅう再発掘計画!!

福井国体・元気大会が終わり約2カ月。時々自分で撮影した開会式、閉会式の写真や映像を見返し楽しみ、運営に携わった方々、選手の皆さんには今でも元気を頂いております。

開催中はぴりゅうが選手の皆さんや応援に来た方々に可愛がられている所を見ると、「ありがたい、よかったねはぴりゅう」と照れながら横を静かに通り抜けていた私が今思うことは、はぴりゅうとその兄妹たちの今後について。素晴らしいはびねすダンスの曲や振り付け、音頭バージョンはまだまだ福井県を盛り上げていけると感じております。今後も地域のお祭りや運動会などで、はびねすダンスや音頭を踊る。そういつかたちで福井国体の感動を残していけたらなあ、かつてに願っております。はぴりゅうと、福井国体の感動の思い出が無期限冬眠なんて淋しいです。私は福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会を、「あのときはすごかったんだよ」じゃ終わらせたくありません。

何らかのかたちで残すことができれば、いいのにな～。



はびねすダンス普及

東 智子

一生忘れられない瞬間

私は、2014年から約4年間に渡り、福井国体・大会公式ダンスはびねすダンスの普及・指導をしてきました。

国体・障スポの開会式式典演技フィナーレでは9.98スタジアムが一つになり踊り盛り上がったはびねすダンスの様子を自らもステージで踊りながら見ることが出来て、今この瞬間を目指してやって来たんだという色んな想いが込み上げ涙が溢れていました。

一生忘れられない感動と人生の中でかけがえのない経験や色んな他ジャンルの皆さんとの縁があったことは本当に有難く、感謝の気持ちで一杯です。

県内では多くの皆さんがはびねすダンスを楽しく踊り、またダンスを見て元気付けられたという言葉聞き、福井国体・大会に関わった全ての皆様にとって良い思い出と記憶に残ってもらえたら嬉しく思います。

最後に、次開催の茨城県へ、いきいき茨城ゆめ国体・大会の成功を心からお祈りしています。

しょ かん しゅう 所感集

両大会のあゆみ

所感集

募金・協賛

実行委員会



貴賓室等 飾花(生け花)
福井県華道協会
会長

大円 暁和

挿花(そうか)

今年は、2月の大雪、8月の猛暑と台風と、自然の猛威が「福井しあわせ元気」国体・障スポを脅かしはしないか心配しましたが、降りしきる雨の中での開会式、福井県勢の競技での大活躍に心から感動いたしました。福井に国体・障スポが誘致された頃、マスコットキャラクター「はびりゅう」が発表され、また、開会が近づくにつれ沿道には花々が植えられ、マスコミ報道は日々高まる熱気を伝えてくれましたが、私には「国体・障スポ」という実感がありませんでした。そのような時、福井県華道協会に、国体開・閉会式、障スポ開・閉会式の貴賓室・来賓室への挿花のお話がありました。お引き受けした後、何度かスタッフの方々と打ち合わせを重ねましたが、様々な準備に奔走される姿に接し、国体・障スポの準備の大変さに驚くとともに、その一員になれることに幸せを感じるようになりました。福井県の花は「水仙」で、冬に可憐に咲き誇りますが、この「水仙」を9月の開会式に合わせて咲かせるために育ててこられた生産者の方々のご苦労は言葉では言い尽くせません。私も天皇・皇后両陛下、ご来賓の方々がご休憩される室に、季節や風ややすらぎを感じていただけるよう試行錯誤をくり返す中で、精一杯花をいけさせていただきました。天皇、皇后杯優勝の影に、数知れない人たちの、並々ならない支えがあったこと、そして私もその一員になれることに誇りを感じています。今までのいけ花人生の中で、これほど光栄なことはありません。本当にありがとうございました。



ロイヤルボックスの黄菊飾花
福井シード株式会社
室長

辻本 芳郎

福井しあわせ元気国体・障スポからスタート

初めに、福井しあわせ元気国体・障スポが無事閉会されましたことを心よりお喜び申し上げます。

弊社は、天皇皇后両陛下が御臨席されたロイヤルボックスの菊、おもてなし広場におけるはびりゅう花壇や越前水仙の飾花、花いっぱい運動の資材調達を行いました。

今年は例年にない酷暑や度重なる台風襲来等、花にとっては過酷な環境であり、菊の開花遅れ等もありましたが、今は無事最後まで咲いてくれてほっと胸を撫で下ろしております。期間中の花の管理について、夜間や早朝の花摘み・水やりや、台風対策など大変なことも沢山ありましたが、記念撮影をしていく方々の笑顔が全てを忘れさせてくれました。

両大会に携わらせて頂いたことで、貴重な体験をさせて頂きましたことを深く感謝申し上げます。また、大会終了後も一過性のもので無く花いっぱい運動が継続されて、花と緑あふれる福井の景観が広がっていくことを願っております。



タクシー乗降場のアテンド、
ポーター(ボランティア)
一般社団法人
福井県タクシー協会

片岡 千鶴子

タクシー乗降場ボランティアに参加して

福井しあわせ元気国体の総合開会式、福井しあわせ元気大会の競技開催中のタクシー乗降場のポーターとして参加させていただきました。特に国体の総合開会式では朝から終了後も雨となり、開会式が始まってから終了までの途中退場はほとんどないと聞いていましたが、体調を崩された方や小さいお子様がいらっしゃる家族連れの方など、たくさんのお客様が予想していた時間より早くタクシーに乗りに来られ、対応に追われました。雨の中、タクシーに乗車される際に、少しでも雨に当たらないよう傘をさして対応しました。

ほとんどのお客様が雨に濡れて寒がっておられ、タクシーに乗車したときのほっとした感じがとても印象深いものでした。雨の中で私自身も大変でしたが、お客様から後部シートが雨で濡れるのを気遣っていただいたり、感謝の言葉をいただいたりして、反って労われた思いがしました。お客様と直接、接する業務に携わることができて本当によかったと思っています。

式典会場のレイアウトの都合上、タクシー乗降場が分かりにくい位置にあり、多少不便なところもあったかと思いますが、競技者、観覧者等の皆様が福井県に滞在中、私どもの対応で少しでもおもてなしを感じていただけたら幸いです。最後に、50年に一度の福井国体・障スポに関われたことに感謝し、今後の業務の励みとしていきたいと思っています。



宿泊施設のための
献立モデルレシピ集の
作成、弁当メニューの選定
(公社)福井県栄養士会
名誉会長

清水 瑠美子

「食と栄養」で応援“元気国体2018”

「福井しあわせ元気国体2018」・全国で初めて国体と障害者スポーツ大会を融合した「福井しあわせ元気大会」が素晴らしい成績で終わりました。宿泊・衛生に関する検討会は2011年より勝木委員長の下、大会での食事提供に関する課題を整理し、選手の体調管理や勝つための栄養を考慮した美味しい「ふくい」の食事を楽しんでいただけること、福井の食材をアピールすることなどを献立審査会などで熱心に議論し安全でおいしい食事の提供に留意し当日に至りました。雨の開会式でしたが国体弁当を食べて頂いている方々を見て嬉しく、その評価がとても心配だったことは忘れてはできません。関係者の熱心で細やかな努力が花開き素晴らしいおもてなしに繋がったと思います。インターネットでいつでも見られる「献立モデルレシピ集」の作成には栄養士会会員・調理師会の皆様のご協力で素晴らしいものになりました。次回開催県に繋がれたらと思います。



看護師の確保、救護活動
公益社団法人
福井県看護協会 専務理事

長谷川 まゆみ

医療救護に看護師派遣を調整して

「看護師として何か出来たら・・・」、「経験することの出来ない、またとない機会」と、責任・期待感を抱いて国体・障スポの医療救護に就いた看護師は、「予想もつかない雨、そして競技中の熱気、このような中での選手・役員、観覧者の方々への救護は気が緩めず緊張した。しかし、自分も参加できたことがうれしい。そして感動!」と、熱い想いを勤務先に報告していました。

福井県看護協会は、今回の国体・障スポでの医療救護業務への看護師派遣の調整役を担いました。競技会場となる地元の医療機関にできる限りご協力いただきたいという看護協会の調整に、「地元開催の競技ですよね。協力しますよ。」と、病院長そして看護部長のご理解・ご支援をいただき、国体・障スポで82もの式典および競技会場への看護師派遣が実現しました。県内35の医療機関から派遣され医療救護業務に関わった延べ568名の看護師は、医師とともに選手の活躍と観覧者の応援を支えました。

福井県看護協会は、県内外の多くの人の記憶に残るこのすばらしい国体・障スポにおいて、医療救護の看護師派遣調整という貴重な経験ができましたことに感謝すると共に、ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



国体・障スポ初
炬火燃料に水素を使用
岩谷産業株式会社
水素本部水素エネルギー
部長

浅井 健治

国体・障スポ初の水素炬火に賭けた熱き思い

平成30年9月29日午後2時40分、降りしきる雨の中、天皇、皇后両陛下ご臨席の元、その炎は鮮やかに点火されました。ランナーの持つトーチから炬火台に炎が燃え移る瞬間、「つけー!」と心の中で何度も何度も叫びました。そしてその炎、水素炬火が、まっすぐ空に向かって燃え上がった時は『ヤッター!』とまた心の中で何度も何度も叫びました。

73回目を迎える国民体育大会の炬火の燃料として、今回初めて水素が使われました。当社は企業協賛という形で、その水素や水素を供給する設備、炬火バーナーを提供させて頂きました。水素は二酸化炭素を排出しない次世代エネルギーとして期待をされていますが、水素を実際に見た人はほとんどいません。その水素を日本全国の皆さまの前で炎として形にできたことを本当に誇りに思います。

来るべき水素社会を迎えるにあたり、水素をより多くの皆さまに知って頂くにはどうしたらよいかと検討を始めてから5年、水素も他の燃料と同じように安心して、安全にご利用頂けることをお伝えしたくて参加した『福井しあわせ元気』国体・障スポでした。

2年半前、初めて当社の提案をお聞きになられた福井県国体推進局の皆さまは、本当に水素で炬火が出来るのかと、さぞかしご不安だったと思います。それでも私共を信じ、このような貴重な機会を頂きましたことを本当に感謝しております。有難うございました。

自然豊かで空気もお米も魚もみんな美味しかった福井県、皆さまの益々のご多幸をお祈りしております。